令和８年度第１回　岩国市子ども・子育て会議　会議録

概要　日　時　　令和８年 10 月 21 日（水）　17 時 30 分～18 時 35 分
　　場　所　　岩国市役所２階　特別会議室
　　出席者　　中村会長、村中副会長、吉岡委員、渡邊委員、森脇委員、中邑委員、川村委員、重本委員、光井委員、升田委員、三浦委員、脇委員、米山委員
　　欠席者　　舛本委員、安本委員
　　傍聴者　　なし
　　事務局　　岡原こども家庭担当部長、多谷本こども家庭課長、藤本こども家庭センター長、中道同次長、津嶋保育幼稚園課長、松本学校教育課主幹、友重同主幹、光井スポーツ推進課長、大越地域クラブ活動推進室次長、村中政策班長、関本こども相談室長、柴田母子保健班長、福山子育て世代包括支援班長、石川認定・給付班長、箱﨑放課後保育班長

議事　１　岩国市こども計画の令和７年度における点検・評価
　　２　利用定員の変更について
　　３　岩国市立保育園の整備実施計画（第３次）の中間見直しについて
　　４　特別地域保育体制確保対応加算について
　　５　その他

配布資料　　・会議次第
・岩国市子ども・子育て会議委員名簿
・配席表
・岩国市こども計画の点検・評価
・利用定員の変更について
・岩国市立保育園の整備実施計画（第３次）の中間見直し案
・特別地域保育体制確保対応加算
・岩国市子ども・子育て会議条例

議事録署名委員　　渡邊委員、森脇委員

議事の経過

１　岩国市こども計画の令和７年度における点検・評価

（事務局説明）

委員　産後ケア事業は、例えばお母さんが髪を切りに行きたいなどで預けることはできますか。

事務局　この事業は母子を対象にしているので、母親とこどもと一緒でということで、こどもを預けて、お母さんが髪を切りたいとか予定されるということはこの事業ではありません。

委員　産後ケア事業は、お母さんの身体のケア、お母さんの心のケア、育児サポートというのを目的としてされていると思います。お母さんは、産後はすごく不安定になります。こういうケアができたことによって相談するところが増えて助かっていらっしゃると思いますし、その補助を母推ができればと思ってやっています。スマホを見て解決される方もいらっしゃるかと思いますが、お母さんが不安になるときに産後ケアでじかにお話を聴かれて、人間対人間で、教えていただけたら嬉しいと思います。

委員　先ほど医療的ケア児の対応というお話がありましたが、把握している現状はどの程度でしょうか。

事務局　現状の医療的ケア児の受け入れ体制ですが、本市では医療的ケア児を専門的に見るという施設は今のところはありません。今、長門市さんが力を入れてやられていますので、そうしたところを参考にしながら、本市でどういったことができるかも含めて今後検討して参りたいと思っております。民間の園においては、毎年5園から6園ですが、各園にて看護師さんを雇用されて、医療的ケアとは言わないまでも必要なケアができるような体制は整えていかれています。

委員　児童育成支援拠点事業を受託しています。学校帰りは10人ぐらい来て、この時間に来る子は大体決まってきました。学校に行けない子は昼間2.3人が来て勉強に取り組みます。勉強をやりたくなかったら昼から来るなどそれなりに楽しんでやっています。多いのがいいのか少ないのがいいのかわかりませんが、学習というよりも自分の個性で遊べるものを多くそろえてるので、こちらを伸ばしていく。居場所に来れば登校扱いにしていただけると教育委員会と連携もとれています。日常生活でこれは良い、これは悪いというのを教えることができる機会もあります。こどもたちにとって安心安全な場所になっていると思っています。

委員　こどもの数は全体として減っているのですが、放課後教室を求めている家庭は減る状況ではなく、多くのこどもたちが放課後教室のお世話になっている状況です。麻里布小学校でも、もともと校舎外にある施設はいっぱいですので、校舎内で夕方の4時半までは空き教室を使っている状態です。今年度は、夏休みの間の利用が増えるということで、その空き教室に机を余分に入れて対応しました。

委員　産科の救急搬送先が岩国医療センターに集中している状態で、病院自体が少ないのが問題ではないかと。市外の病院に通われる方が多くて、そこまで救急車で搬送するのはすごいリスキーなので改善できたらいい、どう改善していけばいいかと思います。

委員　最近は男性だけでなく女性で起業しようという方が多く、こどもがまだ小さいから、本格的に事業を始めていきたいけれど難しいというところもあるので。安く手厚くみてくれるようなところがあればいいと思います。

委員　仕事一辺倒ではなく、やっぱりこどものことを考えるのも大切だと思います。

（部活動地域展開について事務局説明）

委員　以前はお弁当を持って行かせたら部活をやって帰ってきた。今は親が連れていかな

いといけないから、小さいときより負担が多いという話が出ています。バスに乗って自分で行けるといいがバスが来ない。何か補助を出して、使い方を考えてもらいたい。
それと、12 月に麻里布で小児科が開院されます。土曜日お休みで日曜日開院。
もう 1 つ、こども誰でも通園制度といって、今までは働いている人しか保育園等使えなかったけれど、10 時間の時間設定がありますが、自由に使えるような制度に取り組んでいます。

委員　こどもが生まれた後の金銭的な援助はすごくあると感じるので、岩国に新しく入ってくる人の家賃の援助など、産む前の、若い世代に対しての援助があれば、岩国で暮らしたいと思うきっかけになると思います。こどもを育てるためには頼れる人が必要と感じます。スマホはありますが、人間対人間で関われるものが継続的に充実してあればいいと思います。若い人は広島に出ることが多いので、岩国で若い人同士が交流したり、人間関係がつくれたり、岩国で繋がりができたら将来的に岩国に住む人が増えるのではないかと思います。

（承認）

２　利用定員の変更について

（事務局説明）

（承認）

３　岩国市立保育園の整備実施計画（第３次）の中間見直しについて

（事務局説明）

（承認）

４　特別地域保育体制確保対応加算について

（事務局説明）

（承認）

５　その他

（岩国市子ども・子育て会議条例の改正について事務局説明）
（岩国市こども家庭センターについて事務局説明）

（一同、同意）